

岩見沢市立栗沢小・中学校 小中一貫教育グランドデザイン

《中・長期基本理念》

◆すべての子どもが「栗沢で学んでよかった」 ◆すべての保護者が「栗沢で育ててよかった」 ◆すべての住民が「栗沢で生きてよかった」

《校訓》

(小学校) 明るく 強く 力を合わせて
(中学校) 探究心と実践力をもつたくましい生徒

《重点目標》

Action 前に踏み出す力 **Thinking** 考え抜く力 **Teamwork** チームで働く力

《教育目標》

(小学校)・深く考える子ども・思いやりのある子ども
・からだを大切にしている子ども・がんばりぬく子ども
(中学校)『つながる心 つなげる学び』

《めざす子ども像》

ふるさと栗沢を大切にすることを基盤に、自らのキャリア選択に応じた考えを膨らませ、グローバルな視点で仲間と共に新たなことに挑戦していく子どもたち

《めざす学校像》

- 学習的機能・社会的機能・福祉的機能をバランスよく併せ持ち、多様な人々につながる学校
- すべての子どもたちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会につながる協働的な学びの往還を実現させる学校
- 未来社会を支える有為な人材を輩出していく学校(社会人基礎力の育成)

1stステージ(1年~4年)

明るく元気で笑顔が絶えない子どもたち

- ◆学びの基礎・基本の確実な習得
- ◆学習規律の徹底
- ◆明日につながる学習生活習慣の確立

学習生活習慣確立期
ステージ担任制

2ndステージ(5年~7年)

強い意志で正しく行動する子どもたち

- ◆知識・技能を活かした主体的な能力の育成
- ◆課題解決・課題発見に適する学習スキルの習得
- ◆有益な生き方を選択する社会性・人間性の育成

主体的能力育成期
ステージ担任制→教科担任制

3rdステージ(8年~9年)

新たなことに挑戦し、チームで働く子どもたち

- ◆夢や希望の実現に向け、探究力を鍛錬する能力の育成
- ◆他者と協働しながら新たなものを創造する力の育成
- ◆世界の一員として、人とのつながりを大切にしている心の育成

探究力鍛錬期
教科担任制

《めざす教職員像》

- 「めざす子ども像」の実現に向け、探究力鍛錬を図る授業改善や、STEAM教育の推進に向けた新しい知識・技能を学び続け、子どもたち一人一人の学びを最大限に引き出ししながら、主体的に学校経営に参画する教職員
- 「未来の学校の創造」というミッションに向け、個々の強みでつながり補完し合う教職員

《目標達成のために徹底する取組》

- (1) 「めざす子ども像」「めざす教職員像」「めざす学校像」を達成するために、栗沢小・中学校双方向での、報告・連絡・相談を徹底する教職員の意識改革を図るとともに、ミドルリーダーが躍動し、分散型リーダーシップが発揮される学校運営の推進。
- (2) 各種調査の結果や質問紙・アンケート・QU調査・学校評価などの分析により子どもの変容を逐次確認、共有し、学校が抱える教育課題を絶えず明確にしていくとともに、ショートスパンでの改善システムを構築し、丁寧な説明責任、結果責任を内外に示していく。
- (3) 学校評価の取組を検証し、社会に開かれた学校を目指し、認定こども園との接続を大切にしたい一体的な評価システムの構築。
- (4) 栗沢の子どもや地域の実態に合った小中一貫教育と学校運営協議会(栗沢CS)、地域学校協働本部(マロンドリーム)との密接な関連を図り、チーム栗沢で理想の学びの環境を確立する。



Action

前に踏み出す力

主体性 実行力 働きかけ

Thinking

考え抜く力

課題発見力 計画力 創造力

Teamwork

チームで働く力

発信力 傾聴力 柔軟性
規律性 状況把握力

未来のトピを拓く カリキュラム・マネジメント

一人一人の子どもに「できる→わかる→使える→役に立つ」を体感させ、ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」への授業改革→栗沢スタイル(「子どもと創る授業」を通して)

数値的目標：NRT検査…偏差値+3以上、全国学調…全教科全国平均以上

1st...9か年の学習の基盤となる基礎・基本の定着を徹底し、子どもたちの学習意欲を喚起させる課題の提示等の工夫、教科横断的に学習内容を深化させていく。

2nd...各教科で習得した「見方・考え方」を基盤としながら、課題解決や課題発見に適した様々な学習スキルやコミュニケーション能力(システム&デザイン思考力)などを身に付け、主体的・対話的な学習活動を通して探究力を鍛錬していく。

3rd...7年間で培った人間性・社会性を基盤に、次なるステージでどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかのロードマップを描き、共に学んだ仲間と共に力強く一歩を踏み出す。

強い意志で正しく行動する心を基盤に持ち、新しいことに果敢に挑戦し、思いやりの心と協働の精神を大切にしている子どもの育成

1st...基本的な生活習慣(挨拶、返事、掃除、時間を守る等)、社会集団の一員としての社会性や人間性を身に付けることに重点を置き、いじめ等を許さない誰もが楽しく安心して学んでいける学校風土を確立する。

2nd...よりよい人間関係を育む「未来の教室5原則」を活かし、新たな学校文化を醸成する自治的能力を身に付け、一人一人の自己存在感・有用感・成就感で心がつながる学校風土を確立する。

3rd...ふるさと栗沢で育んできたことを基盤に、グローバルな視点で未知なるステージで飛躍する姿を膨らませ、仲間と共に「Well-being」を一つずつ現実のものとしていく。

豊かな心と体力カリキュラム・マネジメント

心身ともに逞しい子どもを育成するとともに生命を尊び、健康で安全な学校生活を送ることができる持続可能で危機に強い教育環境づくりの推進

1st...規則正しい生活習慣の確立を基盤として、すべての子どもたちが明るく元気に毎日が楽しいと思えるステージ。基礎体力やバランス感覚を養うことができる基礎スポーツの推奨。

2nd...誰とでも仲良く楽しい学校生活を送ることができるように工夫を凝らした生活を送るステージ。自ら選択し、心身を逞しくさせる部活動に積極的に取り組ませる。

3rd...温かみに溢れ有意義な学校生活をすべての子どもたちが送ることができるようリーダーシップを発揮するステージ。部活動の取組の集大成として心身ともに充実させる。

社会に開かれつながる教育課程カリキュラム・マネジメント

社会に開かれつながる学校

0歳から15歳までの一貫した教育を推進するため、栗沢CS(学校運営協議会)マロンドリーム(地域学校協働本部)を基軸とした、こども園小中一貫教育の推進

働き方改革

(業務の適正化に向けて)

☆子どもの「確かな学力」を保障する環境づくり

- ①授業日数210日確保
- ②個別最適な学びの充実
- ③協働的な学びの充実
- ④こども園小中一貫特別支援教育の確立
- ⑤栗沢CS、マロンドリームとの連携

☆教職員が授業に専念できる環境づくり

- ①勤務時間の適正化(定時退勤の設定強化)
 - ・水曜日、部活動休止日の設定
 - ・土日のいずれか部活動休止日の設定
- ②部活動地域移行
- ・会議の精選

☆保護者・地域の教育ニーズに応じた環境づくり

- ①栗沢CS、マロンドリームとの連携協働
- ②学校HP、情報共有連絡方法の充実